



## 【八幡川の生きもの調査】

令和2年8月1日（土）8:30 -15:00

場 所：八幡川下流域

南三陸町自然環境活用センター

スタッフ：株式会社エコリス

南三陸ネイチャーセンター友の会

志津川淡水漁業組合

南三陸町役場環境対策課

// 農林水産課

南三陸町自然環境活用センター



### 「何の調査をしたの？」

今回は、志津川高校自然科学部による八幡川の生きもの調査に参加しました。高い堤防が作られた八幡川の下流域で、高校生の先輩と一緒に虫や魚を採りました。また、鈴木先生のレクチャーにより、環境 DNA 調査用の川水の採取も行いました。午後には、自然環境活用センターの実験室で、採取した川水から環境 DNA をろ過する作業と、採ってきた生きものの種同定作業（種類別に分けた生きものの名前を調べて数を数える）も行いました。



川の生きもの採取



生きもの観察



DNA ろ過作業



種同定作業

## 「DNA って何？」

DNA は、人の目では直接見えませんが、横のイラストのようにグルグルとした二重螺旋（らせん）の形をしていて、生物の遺伝子情報を親から子へと伝える物質です。DNA を調べると、個人の識別や生きものの種類の判定などができます。 今回の調査の場合、生きものの排泄物、はがれ落ちた皮ふやウロコなどから放出された DNA を、川水からろ過して、どんな生きものが八幡川に住んでいるのかを調査機関に調べてもらいます。ちなみに、調査結果が分かるのは年明けになるそうです。



## 「どんな生きものが採れたの？」



〈魚〉ウキゴリ、ウキゴリ属の幼魚、☆ドジョウ、アユ、☆ニホンウナギ（稚魚含む）、シマヨシノボリ、ヌマチチブ、ウグイ、アブラハヤ、ボラ、シマウキゴリ



〈エビ・カニ〉スジエビ、ヌマエビ属、モズクガニ

〈虫〉コオニヤンマ（幼生）、コシボソヤンマ（幼生）、ダビドサナエ属、☆ヒメサナエ、ミズムシ、モンキマメゲンゴロウ、マルガムシ、ガムシの仲間、ガガンボの仲間、ユスリカの仲間、カタビロアメンボの仲間、ミズカマキリ、アメンボ、シマアメンボ、コカゲロウの仲間、ヒラタカゲロウの仲間、マダラカゲロウの仲間



〈貝〉サカマキガイ、☆ヒラマキガイモドキ

〈その他〉ヒルの仲間

名前の前に☆マークがある生きものは、絶滅のおそれがある生きものをまとめた「レッドリスト」に載っています。

ちなみに、今回で3度目となる八幡川の調査で、魚のウキゴリが採れたのは初めてだそうです。



## 【調査隊の活動が、こどもエコクラブ全国事務局ホームページに掲載されます！】

南三陸少年少女自然調査隊の活動報告は、こどもエコクラブのホームページにその都度掲載されます。みなさんもぜひご覧ください。

<http://www.j-ecoclub.jp/ecoreport/list.php>



## 【次回の予定】 9月5日（土）：スノーケリング体験

昨年に引き続き、サンオーレそではまでスノーケリング体験を行います。志津川湾がラムサール条約登録湿地になったキーパーソンの1つである、海の中にある海藻と海草（うみくさ）の森「藻場（もば）」を自分の目で見る事ができる絶好のチャンスです！「泳げないなあ」と不安な隊員でも、大人のサポーターの方々がそばについてくれますので、ぜひご参加ください！

